

AUN (ASEAN 大学連合) AUN-QA プログラムアセスメントについて

AUN では、ASEAN 地域の高等教育水準の向上に資する質保証メカニズムの構築にむけた取組みとして、AUN-QA ネットワークの加盟大学および準加盟大学に対するプログラムアセスメント (AUN-QA Assessment at Programme Level) を実施している。

アセスメントは2007年12月に開始され、AUNが策定した15の基準に基づき、自己評価・書面調査・訪問調査を行い、最終的に基準ごとに7段階で評定する。2017年1月からは11基準に改訂される予定。また、AUN-QA ネットワークに未加盟の大学の受審も促し、ASEAN 全体の高等教育の質を高めていくことを目指している。

●目的

国を越えた枠組みのもとで評価を行うことにより、ASEAN 地域での「調和」を図っていくことを狙いとする。共通の枠組みで評価されたプログラムは透明性・比較可能性が高まり、単位互換の円滑化、ひいては学生流動の促進に寄与することが期待されている。

●受審対象

AUN-QA ネットワークの加盟大学、準加盟大学であり、受審申請時に当該プログラムにおいて3期以上の卒業生輩出実績があることが受審対象の条件となっている。

AUN-QA ネットワークの加盟大学とはAUN加盟の30大学を指し、AUN理事会によって同ネットワークの加盟大学となることが自動的に承認されている。準加盟大学とはAUNに加盟していない大学で、次の条件を満たしており、AUN-QA 委員会で承認された大学である。現在、準加盟大学は30大学以上。

- 当該国の質保証機関または関係省庁の設置認可を受けている
- 設立後10年以上が経過している
- AUNの質保証活動(研修等)に積極的に参画する
- 質保証活動の中心となる役職(Chief Quality Officers: CQO)を学内に置く
- AUN-QAの評価者を学内から推薦する
- AUN-QA活動維持費として年会費を負担する

●アセスメント基準

<基準の考え方>

アセスメント基準の構成・考え方は、AUNが提唱する「質保証モデル」(AUN-QA Model)に由来する。「質保証モデル」は、多様なASEAN諸国の大学にも適用し得るモデルとして考案されたもので、「長期的戦略性」(Strategic)、「体系的」(Systemic)、「短期的戦略性」(Tactical)の3つの概念から成る。それぞれの概念に対応する具体的なアプローチとして、「Strategic=機

関レベルの質保証」、「Systemic=内部質保証システム」、「Tactical=プログラムレベルの質保証」が提案されている。そのうち、プログラムアセスメントは、プログラムレベルの外部質保証に相当するものである。

< 基準構成 >

プログラムアセスメントは、教学両面 (Teaching and Learning) における「インプット」「プロセス」「アウトプット」の「質」に主眼を置く。そのため、アセスメントの基準は、PDCAのアプローチに沿って構成される。

すなわち、大学は、期待する学習成果を定めているか、教育提供のための体制を整備し、教育を実施しているか、教育の結果として修了時の学生のアウトプット (卒業率、退学率、就職率) を通じて期待する学習成果の到達度を測っているか、改善の取組みとして、学生や卒業生、雇用主からのフィードバックを収集・分析しているか、という点を重点的にみることにしている。

AUN-QA プログラムアセスメントの基準

第2版 (～2016年)	第3版 (2017年1月施行)
1. Expected Learning Outcomes	1. Expected Learning Outcomes (期待する学習成果)
2. Programme Specification	2. Programme Specification (期待する学習成果の書面化・公表)
3. Programme Structure and Content	3. Programme Structure and Content (プログラムの構成・内容)
4. Teaching and Learning Strategy	4. Teaching and Learning Approach (教授方法と学習管理)
5. Student Assessment	5. Student Assessment (学生に対する成績評価)
6. Academic Staff Quality	6. Academic Staff Quality (教員の質)
7. Support Staff Quality	7. Support Staff Quality (職員の質)
8. Student Quality	8. Student Quality and Support (学生の質・学生支援) ※アドミッション・ポリシーや入試方法、入学後の学生支援体制
9. Student Advice and Support	9. Facilities and Infrastructure (施設・設備)
10. Facilities and Infrastructure	10. Quality Enhancement (質支援と開発)
11. Quality Assurance of Teaching and Learning Process	11. Output (アウトプット) ※卒業率、就職率、在学期間、学習成果の到達状況、ステークホルダーの満足度
12. Staff Development Activities	
13. Stakeholders Feedback	
14. Output	
15. Stakeholders Satisfaction	
15 基準 68 指標	11 基準 50 指標

現在の基準（第2版）は15基準で構成されている。2017年からのプログラムアセスメントでは、重複している指標や不明確な指標を見直し、11基準50指標から成る第3版が用いられる⁽¹⁾。主な変更点は次の通り。

- 第2版の基準8と基準9を第3版の基準8（Student Quality and Support）に統合
- 第2版の基準11と基準13を第3版の基準10（Quality Enhancement）に統合
- 第2版の基準14と基準15を第3版の基準11（Output）に統合
- 第2版の基準12を第3版では基準6（Academic Staff Quality）と基準7（Support Staff Quality）に分けて設定

●プロセス

①評価チームの編成・評価実施計画の策定、②自己評価書作成、③評価の実施（書面分析、訪問調査）、④評価結果の確定、改善のアクション。

●主要資料

アセスメントの実施方針や基準、評価方法等についてまとめたガイドブック「Guide to AUN-QA Assessment at Programme Level」は、プログラムアセスメントを始める前年の2006年に初版、2011年に第2版、2015年に第3版が刊行されている。AUN-QA 専門家、委員会関係者により作成。ガイドブックの構成は下表のとおりで、総ページ数は135。

「Guide to AUN-QA Assessment at Programme Level」の構成

1. AUNの考える質保証モデルの紹介
 2. 各評価基準の詳細説明
 - ・ 基準
 - ・ チェックリスト
 - ・ 趣旨
 - ・ 分析のための質問リスト
 - ・ 根拠資料
 3. アセスメントについて
 - ・ 原則、実施体制
 - ・ 自己評価書の構成
 - ・ アセスメントの準備（評価者に対する研修内容を含む）
 - ・ アセスメントのプロセス
 - ・ アセスメント報告書（評定の考え方を含む）
- 付録（チェックリスト、テンプレート、報告書見本等）

●アセスメント結果の表し方

各基準は1～7段階で評定される。（最高の7点＝世界水準もしくは先進的な取り組み）

なお、教授・学習に関する基準にかかる評定は、別の表現が用いられるが、内容は下記と同様である。アセスメント結果は、各基準の評定とともに、総合結果が示される。なお、判定された評価結果の有効期限は4年。

⁽¹⁾ なお、2016年中のアセスメントについては、基準の第2版と第3版を併用して実施される。

例：「11 基準のうち、基準が 5 点（AUN の定める基準を上回る）、基準が 4 点（同基準を満たす）、基準が 3 点（基準を下回り軽微な改善が必要）。総合的にプログラムの質は 4 点と 5 点の間にあると評価する。」

各段階の評定の表現

1 = nothing (no documents, no plans, no evidences) present
2 = this subject is in the planning stage
3 = documents available, but no clear evidence that they are used
4 = documents available and evidence that they are used
5 = clear evidence on the efficiency of the aspect
6 = example of best practices
7 = excellent (world class or leading practices)

●評価費用

受審する大学側は、評価者および AUN 事務局員の旅費・滞在費、評価者への謝金を負担する。このほか、準加盟大学は受審プログラムごとに別途負担金が設定されている。

●受審実績

2007年 12 月から2016年 3 月までにアセスメントは 80 回⁽²⁾実施され、171プログラムが受審した。受審プログラムのほとんどは学部レベルであるが、近年は研究科レベルの受審実績もある。

受審実績を分野別で見ると、自然科学（39%）、社会科学（31%）、工学（26%）、人文科学（4%）の割合となっている。

また、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムでは、教育省が国内の大学に対して AUN-QA アセスメントの受審を奨励する動きもみられる。特に、インドネシア、ベトナムの受審実績が多く、インドネシアでは、近年準加盟大学の受審も多い。ベトナムでは、プログラムの自己評価を実施する際に、AUN の基準を用いたり、AUN の評価者によるアセスメントを受審しているプログラムも多い。

受審実績参照先：<http://www.aunsec.org/programmelevel.php>

【出典】

- ASEAN University Network, <http://www.aunsec.org/index.php>
- AUN-QA, <http://www.aun-qa.org/>
- Chavalit Wongse-ek, AUN-QA at Programme Level, 6th ASEAN+3 HEADS OF INTERNATIONAL RELATIONS MEETING, 2016
<http://www.aunsec.org/pdf/documents-export/01%20AUN-QA%20Network%20%20-%20Copy.pdf>
- Johnson Ong Chee Bin, Teaching and Learning Strategy View from AUN-QA Assessment, 2015
http://aunsec.org/pdf/Presentation%20Session%202/Session%2002_Speaker%2004_Teaching%20and%20Learning%20Strategy%20-%20View%20from%20AUN-QA%20Assessment%20-%20Johnson%20Ong.pdf
- AUN, Guide to AUN-QA Assessment at Programme Level, 2015
http://www.aunsec.org/pdf/Guide%20to%20AUN-QA%20Assessment%20at%20Programme%20Level%20Version%203_2015.pdf
- AUN, Asean University Network Annual Report 2014-2015, 2015
- AUN, Guidelines for AUN Quality Assessment and Assessors & Framework of AUN-QA Strategic Action Plan 2012-2015, 2014
http://www.aunsec.org/pdf/Guide%20to%20AUN-QA%20Assessment%20at%20Programme%20Level%20Version%203_2015.pdf

⁽²⁾ このうち 21 回（22 プログラム）は別のプロジェクト（2013 年に実施された ASEAN-QA のプログラムアセスメント）によるものである。